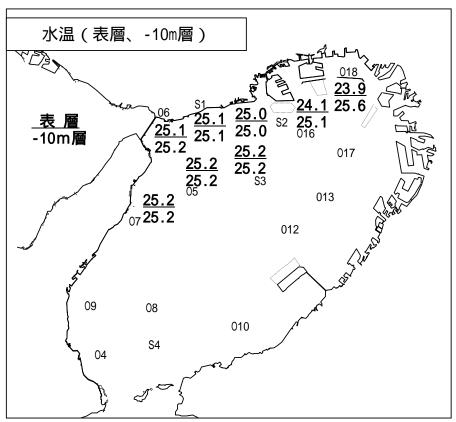
大阪湾漁場環境速報

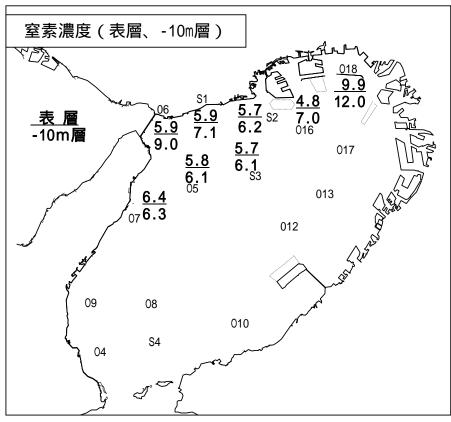
調査船の機器故障により、湾南部の調査点は欠測しました。

(水温)表層は湾内23~25 台で、平均25.0 。平年(過去10年平均24.0)比1.0 、昨年(10/12 23.8)比1.2 それぞれ高い。-10m層は平均25.1 。表層は、陸水の影響を受けている海域を除いて25 以上の値を示している。

<u>(塩分)</u>表層平均**32.39**psu(平年 31.44)。-10m層平均**32.54**psu(平年 31.99)。

<u>(栄養塩、他)</u>表層の窒素濃度は平均 5.7μ g-at/L、リン濃度は平均 0.73μ g-at/L。窒素は平年(8.4)より低く、リンは平年(0.62)よりやや高い値を示している。-10m層(平均)は、窒素 6.8μ g-at/L、リン 0.77μ g-at/L。神戸港沖で、数種の珪藻(タラシオネマ、コシノディスカス 他)や渦鞭毛藻等の植物プランクトンがやや多く認められたが、その他の海域ではこれらの発生量は少なかった。湾奥部(St.018)の-10m層では、溶存酸素(DO)が20%台の低い値を示した。透明度は $4.0\sim6.5$ mで、平均5.4m。pHは表層平均8.08。





平成19年10月11日発行 兵庫のり研究所

上段(今回値)	平成19年10月11日調査
中段(昨年値)	平成18年10月12日調査
下段(平年値)	

調査	水温	塩分	三態窒素	燐酸
地点	()	(psu)	(μg-at/L)	(μg-at/L)
04				
	24.3	32.99	4.7	
	24.2	32.62	5.7	0.50
05	25.2	32.53	5.8	
	24.3	31.85	6.1	0.56
	24.4	32.18	7.4	0.67
06	25.1	32.53	5.9	0.73
	23.9	31.98	6.8	
07	24.2	32.06	7.9	0.67
	25.2	32.63	6.4	0.76
	24.3	32.20	6.0	0.50
	24.3	32.13	6.6	0.59
08	24.2	ვე ∩o	5 A	0 44
	24.2	32.08	5.0	0.41 0.51
	24.3	32.25	5.6	0.31
09	24.3	32.63	3.2	0.29
l 09	24.3	32.03	5.2 5.3	0.29
	24.2	32.12	3.3	0.50
010	24.1	32.12	5.2	0.39
	24.2	32.07	6.9	0.59
	27.2	02.01	0.5	0.00
012	23.7	31.46	1.3	0.11
•	23.9	30.95	10.7	0.66
	20.0	00.00	10.7	0.00
013				
	24.3	30.71	20.6	1.02
	24.1	31.46	4.8	0.65
016	22.9	29.19	4.6	
	23.6	30.13	11.2	0.66
017				
	24.4	29.04	41.9	1.52
018	23.9	31.03	9.9	1.14
	22.6	22.71	51.8	1.44
	23.5	25.72	51.9	2.72
S1	25.1	32.57	5.9	0.73
	23.9	31.96	6.6	0.54
	23.7	31.13	9.8	0.61
\$2	25.0	32.47	5.7	0.72
	22.9	30.30	3.1	0.17
	23.7	30.81	9.3	0.56
S3	25.2	32.57	5.7	0.73
	24.5	32.14	6.0	0.51
	24.1	31.66	6.6	0.59
S4	24.2	32.70	4.7	0.38
	24.2	32.63	5.3	0.52